



希望のぞみを届けます



| Vol.111 2019年9月議会 |

田中のぞみ★市政News

保育
の
無償化

ここが問題…

子育ての負担が減るのはいいことなのだけど…

10月1日から消費税の増税に伴い、3歳以上の保育の無償化制度が始まりました。9月議会では、その問題点について質問しました。

給食費は実費徴収

市立園は、2号児(保育園児)は月4500円、1号児(幼稚園児)は月3000円×10か月と決めました。しかし、徴収は各園の業務になります。保育士不足の中、これ以上の業務を増やすべきではありません。

私立認可園はさらに深刻です。徴収額も各園で決めなければならない、滞納が出た場合は園の持ち出しになります。実費徴収となるので、長期欠席の場合や土曜日利用の場合の計算も複雑です。季節で変動もある食材費を各園の責任としては、子どもたちの食育の質にも影響が出かねません。

浮いた財源(※1)によって給食も無償化する自治体が多数あります。

しかし、市長は冷たい答弁に終始しました。

認可外保育施設も対象… 定期巡回は、抜き打ちもする 方向で検討と答弁

認可外保育施設も無償化の対象です。認可施設に比べて、保育士配置や施設の基準が低く、園児の死亡事故の発生率は認可施設に比べて約26倍高くなっています。市は、国基準(保育士資格者1/3)を満たしていない保育施設は岡山市には無いと答弁しました。

抜き打ち調査の必要性については、今後導入する定期巡回の中で実施を検討すると答弁しました。

保育士さんの働き方改革を!

出産した保育士さんが、育休から復帰しにくく退職される現状があります。時短勤務など育児支援の制度は充実してきましたが、市立園の保育現場ではほとんど取得されていませんでした。保育士不足で大変ですが、だからこそ働き続けられる職場の整備は不可欠です。支援制度の取得に向け、周知徹底していく旨の答弁がありました。教育現場などでも充実が求められます。

今後不要になる財源!

14.4億円!!! ※1

保育料を岡山市が独自で軽減してきた額が、今後不要になります。その額は年間14.4億円との答弁がありました。

